



2021年1月1日発行
1947年10月27日
第3種郵便物認可
発行所/日本YMCA同盟
東京都新宿区本郷町 2-11
THE YMCA 神戸版
神戸YMCA
〒650-0001
神戸市中央区加納町 2-7-11
Tel 078-241-7201
Fax 078-241-7479
www.kobeymca.org
発行人/井上 真二
編集人/岡 勝也
印刷/有わかばやし印刷

年間聖句

「命の泉はあなたにあり

あなたの光に、わたしたちは光を見る。」(詩編36編10節)

迎春 更なる新しい生き方を目指して

皆さまにはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

1年前のこの記事では「その時から新しい生き方が始まった」と題して、阪神淡路大震災から25年の節目として、南海トラフ地震、首都直下型地震等への備えだけでなく、先行き不透明なこれからの時代において、私たちに求められる「新しい生き方」というのは何であるのかということを書きました。それから1年、新型コロナウイルスによるパンデミックの影響を受けた2020年春以降、世界中の人々が今なお、様々な困難の中にあります。感染拡大防止と経済社会活動の維持という極めて難しい状況にありながらも、我々は従前の課題に加えて、新型コロナウイルスの影響による新たな社会課題を見据え、テクノロジーを用いた新しい活動や価値の創出にも目を向けねばなりません。不確実で不安定な時代だからこそイエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神に学びつつ、地域社会から必要とされる活動を行い、ポジティブネットのある豊かな社会の創造につなげていきます。

2021年も皆さまのご参加とご支援をお願い申し上げます。

神戸YMCA
会長 中道 基夫神戸YMCA
総主事 井上 真二

連載 YMCAキャンプ100年 Founding Fathers of the Camp

1920年、六甲山の山麓で始まったとされるYMCAキャンプは100周年です。

< #05 小林弥太郎の内なる光 >

キャンピングサービスセンター 阪田 晃一

キャンプの父、とりわけ日本の「キャンプ場の父」といえば、小林弥太郎(1888-1969)を参照しなければなりません。「小林弥太郎について語る時、YMCA関係者の異口同音に言われることは、山中湖キャンプを開拓し、野尻学荘を創始した当時のこと、そして日ならずして、その両方をYMCAに寄付されたキャンプ事業育ての親、YMCAの恩人として、小林弥太郎を忘るべからず、という語り伝えである」と星野達雄氏による自伝に記されているように、財に恵まれ「明敏な頭脳と優れた教養の人」であった小林は「教会やYMCA」を通じて社会奉仕に勤めます。東京で生まれた小林は若き日丁稚奉公にやってきた神戸で吉岡美国に師事し、後にコロンビア大学へ進学、ジョン・デューイに直接学びます。「試験のバロメーターにされた」ほどその教えを理解した人でした。その小林に「双子のようなもの」と言わしめ、二人三脚で教育的キャンプを開拓していったのは、東京YMCA主事の鈴木栄吉でした。

小林弥太郎には「謎に満ちている数奇の生涯」と言われた後半生があります。野尻学荘を開設して2年後の1934年、鈴木とともに欧米の「進歩的学校」を視察します。そこで「進歩的学校の衰退」と「第二次大戦の兆し」を目の当たりにした二人は、鈴木が「私どもの企画の前途は暗かった。私の心も体も疲れていた」と回想するように落胆して帰国します。そしてその後病に伏した鈴木を「一人の伝道者を伴って見舞った」小林はそこで「主のみ霊を直接体験」し、全く人が変わり、YMCAからもキャンプからも離れてしまうのでした。

晩年まで鈴木と会うことはなく、幾度となく書簡を交わした小林は、1958年の手紙で、「荒野の旅は個人や或いは個々の家族だけで進行するのは危険です。是非ともいずれかの部隊(すなわち教会)に加わって行くべきであります。(中略)信仰の目的はKnowingでもdoingでも

なくbeingであります。私共が「愛」の人、「神の愛」の人として成長すればそれによろしいと思っております」と書き綴っています。

社会が良くなると信じて奉仕に勤しんだ小林が、まったく違う方向に進んでいった社会に落胆した後、苦難に右往左往せずに己が人生を全うする力を聖霊から得たように、キャンプに流れるその力を、私たちも継承していかなければならないのではないのでしょうか。

キャンプ100周年記念シンポジウム&リーダー委嘱式

2020年11月7日に大阪YMCA主管のキャンプ100周年記念シンポジウムがオンラインで開催されました。それに併せて、春に開催できなかったリーダー委嘱式を対面で行いました。久しぶりの対面にリーダーたちも「一緒にいること」の喜びを噛み締めているようでした。

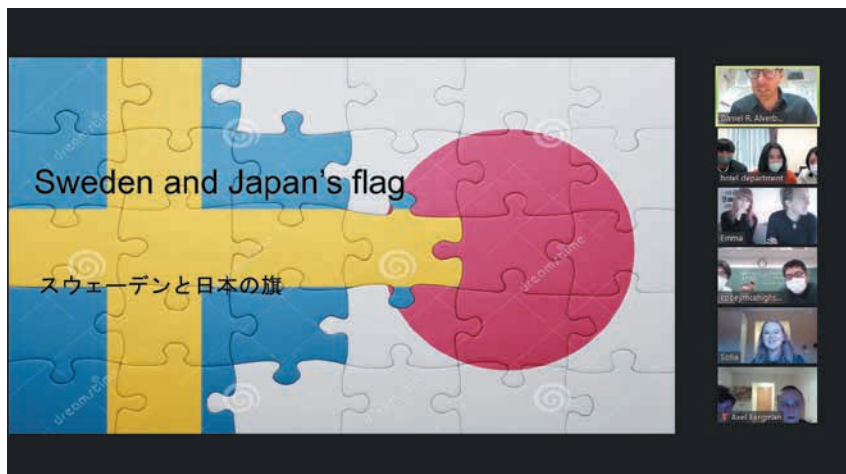


こくさいのまど

神戸YMCA学院専門学校 ホテル学科1年 松本 沙奈

11月30日(月)、スウェーデンのヘルションスクール、神戸YMCA学院専門学校、神戸YMCA高等学院でオンラインワークショップを行いました。時差の関係で、開始時間が1時間遅れるというハプニングもありましたが、とっても素敵な時間になりました。

交流はお互いの自己紹介、学校紹介からはじまりました。私たちホテル学科は授業で使用している実習室の紹介をしました。実習室にあるウェディングドレスを紹介した際は、驚いた表情や声が画面越しからも伝わってきました。次にヘルションスクールの紹介をしていただきました。18～90歳の方々が同じ学校で勉強をしていると聞いて、やはりここが日本との大きな違いだなと感じました。学校紹介だけでなく、スウェーデンの文化や食事、おすすめスポットの紹介を日本語でされていました。発音がとても綺麗でたくさん努力しているなど感じ、私たちの刺激になりました。本来なら5月に来日して直接交流する予定が中止となりましたが、今回オンラインで少しでも交流できた事に感謝しています。第2回も開催ができますように!!



学生支援物資報告

今年度は多くの方々から学生へご支援を頂き感謝の気持ちでいっぱいです。10月にお米・じゃがいも・マスクを支援物資として頂戴いたしました。神戸ポートワイズメンズクラブ様、さんだワイズメンズクラブ様、クレストコーポレーション様、ありがとうございました。学生にとってご支援頂いた皆さまからの温かいお気持ちと、「つながり」を感じる瞬間でした。心より感謝申し上げます。



西宮YMCAファミリープログラム 国際協力チャリティーウォーク



11月23日(月・祝)西宮YMCAから夙川沿いを歩いて北山公園を目指すウォークラリーを行いました。当日は5家族17名の方々にご参加くださり、家族でネイチャービンゴなど様々な課題をクリアしながらゴールを目指して歩きました。コロナ禍で多くの方々が困難な状況にありますが、世界ではコロナと関係なく支援を必要としている方がいることを覚えながら、秋の1日を過ごすことができました。当日の参加費及びボランティア・スタッフから寄せられた募金17,324円は、神戸YMCA国際協力募金とさせていただきます。

チャリティーイベント

ウェルネスセンター学園都市では、11月に秋のチャリティープログラムと題して、趣旨に賛同し担当して下さったインストラクターによる、6つのプログラムを開催しました。会員の方、幼少年プログラムの保護者の方、一般の方、約70名が参加してくださいました。「体力測定」の他、「夜ヨガ」「からだメンテナンス」など担当者の個性が光る内容となりました。募金総額40,570円は、全て地域での活動に捧げられます。YMCAでのプログラム参加が初めてとなる方もおられ、新たな出会いがあり、皆さまの気持ちがこもった、今だから取り組めるチャリティーイベントとなりました。ご協力いただいた全ての皆さまに心より感謝申し上げます。



西神戸YMCA幼稚園

毎年、年長組は教会を訪れて礼拝を守る機会を与えられています。今年度、このような状況の中で延期となりましたが、「是非、行くことができますように。」と願っていましたが、西神戸YMCA幼稚園のチャプレンである原田先生の働きかけと神戸YMCAちとせ幼稚園のチャプレンである藤井先生のご厚意により、須磨区稲葉町にある「日本聖公会 神戸聖ヨハネ教会」に行かせていただけることになりました。

当日、教会までは、

♪わたしたちが暗闇にとどまることがないように キリストはひかりとして世に来られた♪

♪喜ぶ人と共に喜び 泣く人と共に涙を流す♪

・・・と10月、11月に歌っている讃美歌を口ずさみながら、いつもの園外保育とは違う気持ちでバスに揺られる子どもたちでした。

教会は美しいステンドグラスが印象的な温かい雰囲気でした。1995年の阪神大震災の時には、たくさんの方々が避難されて地域の救援活動の拠点の一つとなったそうです。

教会自体も被害を受け、1998年に阪神大震災記念聖堂として再建されました。

美しいと感銘を受けたステンドグラスの一部は、神戸の震災前。地震による混沌。復興・・・を表現されているものと知り、心打たれました。

震災を乗り越え復興し、希望の光と喜びの温かさで満ち溢れている教会での礼拝は、私たちもコロナ禍にあって希望と喜びのひとつとなりました。



地区体育館だより

神戸市立東灘体育館では、安心・安全に利用して頂くことはもちろん、地域に根差した活動にも力を注いでいます。また、このコロナ禍での運営となり、衛生面でもより気を配って日々の業務を行っています。東灘区では総合型地域スポーツクラブの活動が活発に行われ、体育館はその支援も業務の一旦として担っています。地域との連携では、近隣の整骨院の先生を体育館に招きイベントを開催したり、小学校に向きイベントの手伝いや先生方に向けた市民救命士の講習会などを行っています。また、体育館に通いにくい世代や地域を対象とした3世代が楽しめる運動プログラムのイベントをユースプラザKOBE・EASTと連携して実施しています。地域の一員として、体育館を利用していただく方々以外にも健康づくりや運動をするきっかけとなる様々な取り組みを行っています。

これからも多くの皆さまに親しまれる体育館として、今後もその繋がりを大切に、互いによりよくなっていけるような運営を目指していきます。



YMCA西神戸学童保育クラブ

神戸YMCA学園都市会館で運営している「YMCA西神戸学童保育クラブ」は、今年度1～6年生で140人の子どもたちが登録し、毎日100人前後の利用があります。新型コロナウイルスの影響により、4月から学校に登校することができない日々が続きましたが、ようやく学童保育のフロアも笑顔と活気が溢れるようになってきました。相変わらず、マスクの着用と手洗い、うがい、手指消毒をする毎日ではありますが、「withコロナ」を受け入れつつ、今では日常化し、衛生面に配慮しながら保育をしています。とは言え、そのような慣れはあっても、例年通りの活動がしにくいのが現状。キャンプや夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など、大きなイベントは内容を変えてやらざるを得ません。しかし、子どもたちもリーダーたちも気持ちを切り替えて、「今できる事」、さらには「今だからできる事」を考え、工夫をしながらチャレンジをしています。2020年度もあつという間に1月を迎えました。残りの学童保育も工夫をしながら歩みを進めたいと思います。



イングリッシュワールド

ユースプラザKOBE・EASTでは月に1回、幼児から小学校低学年を対象にネイティブ講師と1日を過ごすプログラム「English World」を開催しています。新型コロナウイルス感染症の影響で3月から一時は休講していましたが、「つながり続けるために」新たな試みとしてオンラインレッスンも行っています。

プログラム自体も10月より再開しています。11月は「Thanksgivingをお祝いしよう」というテーマで、英語で遊びながら楽しい時間を共有しました。公園へ落ち葉やどんぐり等の「秋のもの」を集めに行き、集めたものでクラフトを作ったり、「Thanksgiving」がどんな日なのかを学び、実際に簡単な英語劇をしたり…。子どもたちの笑顔があふれ、元気な声が響く1日となりました。



世界YMCA YWCA合同祈禱週

今年も11月8～14日に世界YMCA YWCA合同祈禱週を守ることができました。世界中のYMCA・YWCAも新型コロナウイルス感染症の影響により困難に直面しています。このような先の見えない絶望的な状況の中で、なお希望を抱き、レジリエンスを持って進んでいくことの重要性が示された祈禱週でした。

11月10日(火)には、神戸YWCAと神戸YMCAの合同礼拝を守りました。

「あっち側の私、こっち側の彼女」と題してメッセージを熱く語ってくださった京都YWCAの山本知恵総幹事の実践から、京都YWCAの地域でのお働きをうかがうことができました。

YMCAから12名、YWCAから17名の参加があり、席上献金21,120円が捧げられました。この献金は神戸YMCA国際協力募金ならびに神戸YWCA相互援助募金とさせていただきます。



狂言鑑賞会報告

11月13日(金)に、神戸YMCA学院専門学校日本語学科の狂言鑑賞会が開催されました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、4月からの学校行事がほとんど中止となりましたが、狂言古語美の安東元様のご協力のもと約80名の留学生が湊川神社神能殿で600年前の日本語を使った日本伝統能楽を鑑賞しました。能面や能装束の着付け体験、祝言小謡の歌唱体験などで、日本文化の理解をより深めました。



第62回 めざせイルカ記録会

日程:2020年11月15日(日)

場所:ウエルネスセンター学園都市・プール

参加者:ファミリーウエルネスセンター 25名、
ウエルネスセンター学園都市 20名

役員:ボランティア(神戸市立工業高等専門学校・水泳部)、
スタッフ総勢25名

両ウエルネスセンターのアクアティックメンバーによる水泳記録会が多くの方々のお支え、協力のもと実施できました。初めて参加する子どもが多く、緊張感があるなかで、それをサポートする中高生がいて、多くのつながりを発見できました。

また、ボランティアの高校生が泳ぎ(4泳法)を実演してくれた時は、目をキラキラさせながら、「カッコイイ!」と心の声が聞こえてきました。この経験を今後にも…。次は、みんなの出番かな?!



点灯式

ファミリーウエルネスセンターで毎年行っている「クリスマスツリー点灯式」。

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、メンバーを招いて実施することができませんでした。ですが、平和を想う気持ちや、暖かみを少しでも届けたいと考え、リーダーのハンドベル&ヴィオラ演奏とツリー点灯の様子をSNSをとおして発信しました。このアドベントの期間に限らず、どうすれば心の中に平和を、また人への愛の心を宿すことができるかということ日々考え、祈りながら活動をしていきたいと改めて感じました。



感謝・寄附

(敬称略、順不同)(前号掲載以降～11/30現在)

寄附・献金 神戸YMCAベルクワイアー

ポジティブネット募金

平林 茂、小澤 秀聡、宮野 潤美、小寺 隆志、小寺 星子、山田 栄
株式会社サンビルダー、株式会社ソマー、神戸ポートワイズメンズクラブ

国際協力募金 松田 道子

この他にも、多数の募金・寄附をたいただいております。
感謝をもってご報告します。

ファミリーウエルネスセンター
ランゲージセンター
専門学校
西宮YMCA
余島野外活動センター
デイキャンプ&コミュニティサービス(兼キャンプ事務局)
国際・奉仕センター
ウエルネスセンター学園都市
西神戸YMCA
神戸YMCA高等学院
YMCAおひさま

☎078(241)7202
☎078(241)7204
☎078(241)7203
☎0798(35)5987
☎0879(62)2241
☎078(241)7216
☎078(241)7204
☎078(793)7401
☎078(793)7402
☎078(793)7435
☎078(793)9077

西神南YMCA
須磨YMCA
YMCA保育園
西宮YMCA保育園
西神戸YMCA保育園
神戸学園都市YMCAこども園
神戸YMCAちとせ幼稚園
YMCAちとせ保育ルーム
西神戸YMCA幼稚園
西宮つとがわYMCA保育園
あかしこども広場
学園都市YMCA保育ルーム

☎078(993)1560
☎078(734)0183
☎078(794)3901
☎0798(35)5992
☎078(792)1011
☎078(791)2955
☎078(732)3542
☎078(786)3821
☎078(997)7705
☎0798(26)1016
☎078(918)6355
☎078(794)3045

